

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年4月）会議録

日 時：令和4年4月14日（木）午後6時00分～午後8時15分 （敬称略）

出 席：大槌 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森 増田

傍 聴：2名

事務局：庄司 石川 田中 俣本

1 開会のあいさつ

石川：新年度になりセンター長は岡部が異動になり庄司が配属された。地域福祉コーディネーターが2名ずつ配置され新たに配置された方と、市民推進委員会から推薦されて運営協議会委員になる予定の方が本日傍聴で来ている。

庄司：お世話になった方々が委員としていて縁を感じている。学校教育は長く経験をしたが、社会教育は初めて。お話を聞き学ばせて頂きたい。

大槌：地運協の活動がどう進められるのか、直に見て頂き嬉しく思う。地域特有の課題がある。住んで良かったと思える地域を作っていこうと月1回の会議で講座やイベントを企画し実施している。

2 令和4年度西砂学習館職員体制について

石川：平井が砂川学習館に異動。砂川学習館の田中が西砂学習館に配属になり戻ってきた。田中は手先が器用でなんでも作りなんでも直してしまう。

3 令和4年度地域活性化講座について

（1）「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

石川：講師謝礼3名分（12,000円×3名）、パン作り用20,000円、食材費12,000円の予算がある。図書館は無償。午後のイベントについて、現状予算が無いので他館と調整し可能であれば去年のようにしたい。児童館で夏らしい工作をして頂いたのと同じように児童館にお願いしたい。田中が戻ってきたので、工作もできると考えている。お金のかからないところで、射的、輪投げ、大画面のテレビゲーム、バルーンアートなど可能。日程については、今年も西砂小と松中小の夏休み期間が少しずれている。7/26は西砂小のみ、8/30は松中小のみ。午前の講師については、片江先生と岩間先生はお願いし、1人どなたか検討して頂きたい。定員についてはこの2年間はコロナの関係で20名にしていたが、30名に戻してよいか。

大槌：午前の講座は、これまで自由研究に繋がる内容を企画してきた。昼食後は、以前は学習だけだったが、イベントとして子どもの感性を育てる内容やスポーツ、体験するものに変化してきた。

浅見：夏休みの自由研究の学びにもなるし、コロナで体験が失われているこの機会に普段はできないことをやってみる等、どちらも良い。

大槌：地域学校コーディネーターから音楽関係の話が出ていた。

広瀬：去年の振り返りでは内容を変えていこうという話やグループワークの意見が出た。

岩元：サマーイベントへ参加した感覚で考えると、素晴らしいプログラムというよりは皆で

楽しく過ごそう、という気がする。元々の事業目的は、夏休みの居場所作りと食の提供だった。子供たちがまた来てくれるなら今までの形でも良いと個人的に思う。

大槁：子ども達に夏休みの1日をここで過ごしてもらえたらと活動が続けてきた。今は午前のプログラムを検討している。対象が小1から小6。受け取り方は違うが、子どもからは参加して良かったと思える感想だった。講師にもその意味も含めて、学年もバラバラなので、楽しく学べる工夫のお願いをすることはできる。

小笠原：過去の参加者名簿を見ていると5日間同じ子どもの参加もある。門下を開きたいが限られた子しかいない印象がある。この講座は「何年生向けと」すみ分けの範囲を広げることによって、枠が広がるのではと思う。午後のイベントでは、学習館の利用団体にお力を頂き、和太鼓や南京玉すだれ等、ここでしか体験ができないことをしたい。

大槁：午後のプログラムとして検討できる内容で面白そう。

広瀬：学校ではやらないやりかたや体験をしたらどうかと話がでていた。

大槁：方向性は、午前中は授業々していない部分を汲んで欲しいという意味で検討する。学年も小1からでも興味があれば参加してくださいと投げかけていくかたちで考えていく。午後は、和太鼓、南京玉すだれ、吹き矢等の利用団体、ゲーム大会、バルーンアート、木工教室を考える。次回の会議で精査する。実際岩間先生、片江先生の予定を確認し、子ども向けの内容も事前にお聞きする。広瀬委員の話すことをどう解決していくか。

広瀬：午前中の講座では、グループワーク的にして話し合いをすると面白い。

岩元：午後考えていることを午前にやっても良いと思っている。午前は「講座」としているが、午前に子どもたちが楽しくできるものがあれば、午前にしても良い。

小笠原：申し込み方法について、午前午後で分けて申込をすると自由度が増すのではと思う。子どもを限定する懸念になっている。

石川：基本的には分離している。通し、午前だけ、午後だけの3パターンで受けている。

森：今日は午前中にメインがあるが、次は午後がメイン、午前がお勉強と、午前中だけに集めるのではなくて、午前出られない子どもが午後楽しめる機会ができれば良い。シンコースポーツや市民リーダーの草笛も面白い。

大槁：次回の会議で1枠ずつ確実に決めていきたい。サマーイベントについて意見があれば事務局まで。

(2)「西砂の産業を知ろう」

- ・4/15（金）午後6時頃から、天王橋会館で工業会の役員会があり、「西砂の産業を知ろう」実施の趣旨説明と協力依頼

石川：天王橋会館での会合に会長、岩元委員、私の3名で趣旨説明と協力依頼に行く。

大槁：地運協として考えていることをお伝えし、見学を受け入れて頂けるような場所を少しでも増やしていけたら良い。子どもの体験学習を通してこのエリアを知る一助になり、何年後かの産業まつりに繋がれば良い。

(3) その他

広瀬：1年間の事業計画を見ると、4～6月が少ない。ここに豊泉さんの講座を入れたい。

加藤：4月～5月はグッドネイバーで豊泉さんの講座がある。

浅見：グッドネイバー会員内の講座。

大槁：情報を早めに集めて前倒しで進めたい。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

石川：学期に1回開催する方針で決まっている。直近だと、7月頃の開催になるので、5月頃から日程を調整する。

(3) 「西一元氣通信 No5」が完成しました

- ・今後、印刷して、学校に配布、自治会に回覧依頼、関係各所の配架

石川：いくつか訂正が出て直した。何かあれば来週月曜日までに事務局までご連絡ください。

広瀬：メンバーの自己紹介欄はこのような内容に会議で決まったか確認したい。

大槁：自己紹介は地運協のメンバーとしての自己紹介なのではと思う。私自身は2年間の振り返り替えりを載せるのが意味と思った。皆の思いを地域の人に伝える新聞と思う。

増田：テーマが決まっていた。このテーマでとメールがきたのでこれで良いと思う。

岩元：「自己紹介」という言葉の捉え方が違った。ありきたりな自己紹介があっても良い。

(4) 「西砂学習館まつり」参加について

- ・展示場所は、2階第2実習室。フラワーサークル桜と同部屋
- ・部屋の受付当番は、フラワーサークル桜に全日程を引き受けて頂きました
- ・展示物について

石川：ガイドマップ、チラシ参照。会長が学校へ作ったものに「地域を知ろう」をプラスする。

(5) フリースペースについて（協議）

大槁：小笠原委員から提案があった。趣旨を考えたとき、地運協がやるべきなのか、やれるものなのか、青少健を巻き込んで行う事業なのか。次回の会議で協議したい。

(6) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：総会は4月27日に予定しているが3回目の書面評決を検討中。高松学習館の石井さんを講師に推進委員研修を計画している。きらりでは、各学習館利用団体の紹介をする話が出ていて、シリーズで検討中。能村さんは「きらり・たちかわ」の編集を担当。

広瀬：自治会も総会の時期。去年実施した自治会の担当者向けで行った「西砂川での災害を考える」は今年度も実施しても良い。

浅見：配布チラシ参照。地域福祉コーディネーターが2名体制になった。高齢者担当であった生活支援コーディネーターも兼務となった。今後は内金崎が地運協を担当する。

小笠原：新学期が始まった。ランドセル来館事業の受け入れが無くなり、拡充型放課後子ども教室に移行した。児童館は例年になく中高生の利用が増えた。行事は規模を縮小しやっと再開。3回目のワクチン接種が進んでいるが、子ども達の感染は油断できない。食の事業は慎重にならざるを得ない。

長谷川：3月26日、27日は春休みパトロールを行った。音声がオリジナル音声になった。総会は5月22日に開催する予定。報告だけの会になる。4月1日拡充型放課後子ども教室がスタート。今のところなんとか無事でやっていると報告があった。

岩元：文化会では総会を5月21日に予定していたが、書面開催となった。今年度は役員の改選がある。総会までには新しい役員で出発できるように努力をしているところ。中学校で学習支援をしている。七中は校長先生と副校長先生が変わった。

小林：フリースペースは2年以上やっていない。本当に来なくてはならない子どもが来ないと、受け止めている。どのような家庭のお子さんが来なくてはいけないか、私には見えてない。これからどうすれば良いのか。今までフリースペースに来たほうが良いお子さんは来ていたか。

小笠原：1割程度来ていた。

小林：1割でやる意味があるか。困っている子どもの意見を聞くことは難しい。

大橋：来月本音のところを話したい。フリースペースをやろうとなったら地域ぐるみで人材を集めてやらなければならない内容と思っている。

小林：企画者から受け継いだ形。10年も活動をしてきた。

森：2月エクセル講座、3月スキルアップ講座を行った。新しいメンバーも増えた。Wi-Fiが入ったとのことで楽しみにしている。高齢者こそインターネットを活用していかなければと思う。

増田：財政を考える会。4月16日学習会を予定。ウクライナを見ていて、自分で守らないと誰も助けてくれないとそれぞれに自覚しながら、いかにお願いしながら、ものごとをなしていくか。ご意見を伺いながら進めたい。

俣本：今年度の寿教室がスタートした。4名の新しい会員が増え54名となった。個人的にスマホの使い方をよく質問される。寿会員向けにスマホ講座を企画しても良いと思っている。

田中：大根田さんという方がいる。稲を活用しての講座をして頂いている。西砂学習館では高橋由蔵さんが「わらぼっち講座」をしている。大根田さんが新しいプログラムを考えていると話があったので地運協で生かせたらと思う。

石川：Wi-Fiを使うのにルールが必要。要綱を最終的に取りまとめているところ。テレビ会議用のテレビや、新しいパソコンが入った。詳しい方に協力して頂き進めていきたい。会議室、視聴覚室の空調機が壊れた。5月中には修理する予定。

加藤：Wi-Fiが入り、各学習館でオンラインのパソコン講座ができるようになった。インターネットの講座もできたらと話がでている。学習館によって、Wi-Fiが入らないところもあるとのこと。

庄司：この時間までご協力頂きありがとうございます。これだけ地域を考えて頂いていると認識。全て行政課題に繋がると感じた。この地域は子どもの数が増えている。今後は昭島市地域の開発の影響も出てくると思う。委員の知恵を頂き、この地域の課題解決に取り組ませて頂ければと思う。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、 5 月 17 日（火）